

## 資料－３ ワーキング部会の記録

### ■ ワーキング部会（第１回）

#### 1) 日時・場所

- と き : 平成20年 9月 25日(木) 14:00 ~ 16:00
- と ころ : 沖縄県庁6階第1会議室

#### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、禰覇主幹、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地跡地対策課 新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事
- 都市みらい推進機構 稲岡部長
- 日本都市総合研究所 荒田、村山
- 群計画 小橋川
- 玉野総合コンサルタント沖縄支店 盛田課長、水野係長

#### 3) 議題

- 20年度実施計画について
- 県民フォーラムについて

#### 4) 配布資料

- 実施計画書（案）
- 県民フォーラムに向けてのスケジュール等

#### 5) 意見交換内容

##### ① 実施計画書（案）について

- ・ 今年度調査が行動計画のどの段階かが分かるようにしてほしい。
- ・ 普天間跡地で早く市街化するためには、計画開発が必要だろう。様々な呼びかけをして、那覇新都心程度の計画開発ができれば良いのではないか。
- ・ 昨年度調査の「事例集」は地権者懇談会や若手の会で活用することを想定している。若手の会では、「振興拠点」、「住宅地」、「都市拠点」、「環境」の4分野の検討を進めており、来年1月にはその成果を提案としてほしいと考えている。
- ・ 市で予定している今年度の周辺市街地関連調査は、既往調査のレビュー程度になるだろう。
- ・ 有識者等との意見交換については、国営公園化をアドバイスしてくれる人材がいらないか。今後は国営公園化の可能性を徐々に詰めていく必要がある、例えば首里城の国営公園化の経緯を調べてみることも一法ではないか。
- ・ 今年度は「計画条件図」をベースに、全体的なゾーニング程度までは行いたいと考えて

いる。

- ・ 調査実施体制（7ページ）に各社の役割分担を示してほしい。

## ② 県民フォーラムについて

- ・ 今年度調査成果の「方針案」や「モデルプラン」は、県民フォーラムで提案するか。  
⇒ これまでの県民フォーラムでは、同年実施した調査成果を提案という形で提示したことはない。
- ・ フォーラムでは 19 年度の調査成果を紹介してはどうか。また、今年度のテーマは県民に感心の高い「交通」として、パネルディスカッションを行うこととしたい。12 月にはモノレール延長の内示があるので、1～2月に県民フォーラムを実施すればその話にも触れられるだろう。
- ・ 講演者は、次回ワークで各自が案をもちよって決めたい。

## ③ その他

- ・ 各種情報の提供、他調査会議への参加をお願いしたい。
  - ― 文化財データベースの基礎情報等の提供（市）
  - ― 交通にかかわる最新情報の入手・提供（県）
  - ― 本調査担当が意向醸成調査等に参加し内容を把握すること（市）
- ・ 今年度は地権者以外からも意見を伺う場を設けたい。  
⇒ 「ねたてのまちベースミーティング（NBミーティング）」は幅広い方々が参加しているので、その場を活用できるだろう。

以上

## ■ ワーキング部会（第2回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成20年 10月 8日(水) 15:30 ~ 17:00
- と ころ : 沖縄県庁4階基地対策課分室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、禰覇主幹、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地跡地対策課 新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事
- 都市みらい推進機構 ー
- 日本都市総合研究所 荒田
- 群計画 大門研究員
- 玉野総合コンサルタント沖縄支店 加塚技術部長、伊藤課長、水野係長

### 3) 議題

- 県民フォーラムについて
- 意見交換会について

### 4) 配布資料

- 有識者の候補

### 5) 意見交換内容

#### ① 県民フォーラムについて

- ・ テーマは、「交通系」、「軌道系」とする。（前回ワーキングの確認）
- ・ 「交通系」、「軌道系」の対象は、広域交通、域内交通の両方とする。
- ・ フォーラムの形式は、前回と同じく、基調講演、パネルディスカッションで構成する
- ・ 開催日程は、平成21年1月26日の週のいずれかとする。
- ・ 基調講演の人選  
矢島 隆氏を第一候補とし日程等調整する。（ゆいれーるシンポ基調講演実績有り）
- ・ パネラーの人選（女性を含め、4名とする。）

#### ② 意見交換会について

- ・ 意見交換会は、産業・緑化・観光・景観・伝統集落、供給処理施設をテーマとして、有識者候補を選出する。
- ・ 産業：地方都市で成功している事例関係者等を検討
- ・ 産業は、スービックに進出している日本企業に対して沖縄県の駐留軍跡地への進出をヒアリングしてみたい。
- ・ 県内に進出している企業に対して沖縄での優位性をヒアリングしたい。しかし、対象となる企業はあるのか。要検討。
- ・ 景観は、各跡地がどのような景観がふさわしいかを議論したい。

- ・ 伝統集落空間再生は、すべてを再生するのではなく、使える伝統をあらたに作る視点とする。
- ・ 並松街道は、ぜひ復元したい。
- ・ 供給処理施設（処理場）は、市街地内の環境に配慮したよい事例を集めたい。配置場所は、中央部であり普天間公園内などが考えられる。
- ・ 普天間公園については、現地保存の文化財を包含する必要があるそう。稲作跡地等が現地保全の対象となるかもしれない。配置場所検討に関わってくる。

以上

## ■ ワーキング部会（第3回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成20年 11月 6日(木) 14:00 ~ 16:30
- と ころ : 沖縄県庁4階基地対策課分室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地跡地対策課 城間次長、新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事
- 都市みらい推進機構 稲岡部長、仲本部長
- 日本都市総合研究所 荒田、村山
- 群計画 大門
- 玉野総合コンサルタント沖縄支店 加塚技術部長、伊藤課長、水野係長

### 3) 議題

- 県民フォーラム
- 調査経過報告

### 4) 配布資料

- 県民フォーラム関連
- 跡地利用に向けた「取組メニュー」の選定関連
- 計画条件図関連

### 5) 意見交換内容

#### ① 県民フォーラムについて

- ・ 県民フォーラムの開催日は平成21年1月26日(月)に決定。開始時間は例年14:00～としているが、パネルディスカッションでの発言時間が短くなってしまふことが心配である。
- ・ パネルディスカッションのイントロダクションは、富川先生にお願いするが、「交通体系の概要」ではなく「パネルディスカッションの進め方等」をお話頂いた方がよい。沖縄の交通特性などについては矢島氏に話してもらえば良いのではないか。
- ・ フォーラム当日に配布する「講師のお考え」は、各ラウンドの発言に関係ない事柄も含めて幅広く書いてもらう方向としたい。
- ・ 11月中にはフォーラム参加者に挨拶・内容説明に行く必要があるため、11月14日までに「県民フォーラムの概要(タイトル含む)」を確定する。10日の週にメールでやり取りする。

#### ② 跡地利用に向けた「取組メニュー」の選定について

- ・ 普天間公園の国営化については、国としてのメリット見いだす必要があるものの、現段階では難しい状況にある。

- ・ 「メニューの選定」については、引き続き「重要課題にかかる調査検討」を行うことによりブラッシュアップしていく。
- ・ 「重要課題にかかる調査検討」を行いながら有識者ヒアリング候補の抽出をはじめている。有識者については、11月14日までに「意見交換会の対象者」、「個別ヒアリングの対象者」を仕分けしたリストを作成・送付し、随時「意見交換会」を開催した方がよいだろう。

### ③ その他

- ・ 次回ワークは、12月25日（木）
- ・ 地権者懇談会は、11月24日（月）、29日（土）の15:00から行う予定であり、共同企業体からは群計画、玉野が出席。

以上

## ■ ワーキング部会（第4回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成21年 1月 8日(木) 13:30 ~ 15:30
- と ころ : 沖縄県庁4階基地対策課分室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地跡地対策課 城間次長、新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事
- 都市みらい推進機構 佐々木専務理事、稲岡部長、仲本部長
- 日本都市総合研究所 荒田、村山
- 群計画 小橋川、大門
- 玉野総合コンサルタント沖縄支店 加塚技術部長、伊藤課長、水野係長

### 3) 議題

- 県民フォーラム
- 調査経過報告

### 4) 配布資料

- I 県民フォーラム関連（設営、配付資料、アンケート等）
- II 跡地利用に向けた「取組のメニュー」の選定
- III 他の計画分野に関する予備的な情報収集
- IV 「土地利用・環境づくり方針案」の検討
- V 「計画開発」に関するモデルプランの作成

### 5) 意見交換内容

#### ① 県民フォーラムについて

- ・ パネルディスカッションの発言要旨が未入手の方には再度確認した上で、取りまとめたものを富川先生にお渡しする。
- ・ 「講師のお考え」は、フォーラム前に配布することとする。
- ・ 矢島先生とは6日に打合せを行い、「講師のお考え」は作成して頂ける。
- ・ アンケート調査について、設問1は交通関連の内容に変更し、設問2には「供給処理施設」に関する事項を具体的イメージが分かるように項目立てすること。
- ・ 平成22年度に中間取りまとめを行うスケジュールなので、従来形式のフォーラムは来年度で終わりにする。平成22年度以降のフォーラムは中間取りまとめ等を踏まえて具体的な提案を行い、事務局が主体となって県民の意見を聞く場としていきたい。
- ・ 手話通訳は例年通り配置する。
- ・ 内閣本府、沖縄総合事務局からの出席者は確認した上で連絡する。
- ・ 当日の集合時間は、受託者10時、県市11時としたい。

## ② 調査成果報告について

- ・ 21年度からは中間取りまとめに向けた調査にしたい。公共交通分野は、平成21～22年度で方向性をつける予定である。
- ・ 土地利用方針図を提示することにより、地権者からも意見がでてくるようになるだろう。今年度調査のアウトプットとしては、ゾーニング図のようなものが必要と考えている。
- ・ 圏央新都心や普天間公園などの名称は、調査でつけたものがそのままの名称になる可能性もあるため、ワークメンバー内で考えて、少しずつ外にだしていくことを考える。
- ・ 普天間公園の国営化に向けては「返還記念」を意識した計画方針が必要であり、そのことを強く打ち出したいと考えている。宜野湾市でも普天間公園⇔返還記念公園と認識しており、このような観点から国へ働きかけていきたい。具体的には、基地の記憶という観点からシンボリックなものを残すなどが考えられる。
- ・ 「計画開発用地の需給バランスから見た実現性の検証」は、現段階で用地の総規模を確認したいという程度であり、ワークでの議論のために用意している。
- ・ 西側斜面緑地は、跡地と一体的に事業区域に組み込み、緑地として保全していくのが良いのではないかと。原風景は斜面緑地の部分に残されている。
- ・ 跡地内部には墓が80～100程度あると言われており、現在でも清明祭（シーミー）が行われている。跡地利用に際して、これら墓は換地により集約し、墓地街区を形成することになるだろう。

## ③ その他

- ・ 審議委員会の開催日は、2～3月の県議会・市議会の予定を確認した上で、尚先生、黒川先生、内閣府と早めに調整していきたい。
- ・ 次回ワークは、1月末以降の県の予定を確認した上で、別途連絡・調整する。

以上

## ■ ワーキング部会（第5回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成21年 2月17日(火) 13:30 ~ 16:30
- と ころ : 沖縄県庁4階基地対策課会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地跡地対策課 城間次長、新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事
- 都市みらい推進機構 稲岡
- 日本都市総合研究所 荒田
- 群計画 小橋川
- 玉野総合コンサルタント沖縄支店 伊藤

### 3) 議題

- 審議委員会の内容確認

### 4) 配布資料

- 審議委員会内容確認資料
- 配布資料2～4
- 第5回県民フォーラムアンケートの集計結果概要

### 5) 意見交換内容

#### ① 開催場所、役割分担等の確認

- ・ 会場については、フェスナーネ内部の状態を県市にて事前に確認
- ・ 出席者状況
  - －宜野湾市副市長、県知事公室長の出席確認済み
  - －内閣府は槌谷審議官が出席
- ・ 主な役割
  - 司会：城間次長 委員紹介：山内部長 資料説明：當銘副参事

#### ② 資料の確認

- ・ 資料の構成
  - －資料1～4を使用する事を確認（部増しはWG 県作成の資料1～3データをWGへ）
  - －都市交通マスタープラン（案）概要を新資料4として追加する可能性あり（県判断）
- ・ 資料の調整
  - －資料2：資料名称を議事名へ修正する
  - －資料4：同様に議事名へ修正する
  - －同P8：中部縦貫、宜野湾横断の名称を表記
    - （仮）普天間公園の記載は「広域幹線～ゾーン」から「今後～配置方針」へ

琉球大学の表示丸を沖国大と合わせる

一同P14：実際の集落に石垣（H1.5m）が調和していたかを市で確認（必要に応じて修正）同P15：（仮）宜野湾新都市と、（仮）を明記

### ③ 委員会の進め方

- ・ 委員との意見交換は最低1時間程度を予定
- ・ 閉会の挨拶時にH21以降の進め方を案内する予定
- ・ 概ねの流れとしては、H21,22で残りの分野（交通、周辺など）を検討し、H23に跡地利用計画案作成を進める事が理想か

### ④ その他

- ・ 県民フォーラムアンケート集計結果のレポートを提出
- ・ 次回WGは2/27 10時～ フェストーネ（審議委員会本会場）

以上

## ■ ワーキング部会（第6回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成21年 2月27日(金) 10:00 ~ 11:00
- と ころ : カルチャーリゾートフェストーネ会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県知事公室基地対策課 當銘副参事、比嘉主幹、嘉川主任技師
- 宜野湾市基地対策課 城間次長、新垣係長、高江洲主任技師、塩川主事、名幸主事
- 都市みらい推進機構 稲岡部長、仲本部長
- 日本都市総合研究所 荒田
- 群計画 小橋川
- 玉野総合コンサルタント沖縄事務所 伊藤課長、水野係長

### 3) 議題

- 審議委員会について（確認）
- 平成20年度調査報告書について

### 4) 配布資料

- 平成20年度報告書目次案
- 調査内容の概要パンフレット案

### 5) 意見交換内容

#### ① 審議委員会について

- ・ 審議委員会開催に向け、会場設営状況等について確認。
- ・ 資料説明は、資料1~3、参考資料1,2を説明後、質疑ののち、続けて資料4を説明。
- ・ プレス対応は、沖縄県當銘副参事と宜野湾市城間次長にて行う。

#### ② 平成20年度報告書について

- ・ 平成20年度の報告書構成は、Ⅰ「土地利用・環境づくり方針案」のとりまとめ、Ⅱ計画づくりの促進に向けた取組みを本編とし、これら策定に関わる調査事項（県民・市民・地権者等との意見交換、土地利用・環境づくり関連分野にかかる情報収集・分析、その他分野にかかる予備的な情報収集、計画条件図）を付属資料編として取りまとめることについて確認。
- ・ 資料-6 2. 地権者懇談会における意見聴取には、若手の会における検討結果報告を含めるものとする。
- ・ 資料-8 その他の分野にかかる予備的な情報収集には、宜野湾市における文化財・自然環境調査結果を含めるものとする。
- ・ 調査内容の概要パンフレット  
一表表紙は、これまで出してきた「普天間飛行場跡地土地利用基本方針の概要」、「普天間飛行

場跡地利用計画の策定にむけた行動計画の概要」パンフレットを参考にしつつ、継続性のあるイメージがよいと考えられる。

―表表紙には、「普天間飛行場跡地利用基本方針の概要」パンフレットのキャッチフレーズ（みんなで創ろう夢のあるまち）を使用することも考えられる。

―裏表紙は、これまでの経緯等を示すのが適当か。

―表表紙、裏表紙については、県にて記載内容を検討する。

―見開き 1 ページ目の「跡地利用計画の策定に向けた今後の取組み」フローに「事業準備期間」として、3～4年を表記する。

以上